

さいたま市民医療センターにて皮膚感染症でご加療中の方へ

当院では、皮膚感染症について、その治療のみならず予防も重要であると考えています。よりの確で効果的な診療を提供することを目的として、市中感染症がどのように伝搬され患者様個々の感染に繋がっているのか、その感染経路を知るための研究を行っております。

【研究課題】皮膚・軟部組織感染症における毒素産生性黄色ブドウ球菌の関与について
(承認番号 2019-3)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関　さいたま市民医療センター　皮膚科

研究責任者　科長　宮田聡子

担当業務　データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

研究機関　東京薬科大学薬学部微生物学教室　教授　野口雅久

担当業務　細菌の特徴や菌種間の相同性の検討、病原因子の解析

【研究期間】

申請が許可されてから2020年6月までを予定していますが、期間が延長される場合があります。

【対象となる方】

2019年5月より2020年6月の間に当院で、癬（せつ）・癩（よう）、伝染性膿痂疹、褥瘡、皮下膿瘍、下腿潰瘍など皮膚潰瘍と診断された患者様が対象になります。

【研究の目的】

皮膚に細菌が増殖して病気となる皮膚感染症の原因のうち、最も頻度の高いものの一つに黄色ブドウ球菌が挙げられます。黄色ブドウ球菌には、様々な病原因子（病気の原因になるもの）が存在することが知られていて、それらが重症化をもたらすと言われていています。今回、診療の際に採取させていただいた皮膚の培養検体から、黄色ブドウ球菌が検出された場合には、通常の検査に加えて、病原因子の有無について検討させていただきます。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会ならびに東京薬科大学倫理委員会（18-21）の承認を受け実施するものです。診療時に検査させていただいた培養検査にて分離された細菌を用いて行うものです。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。分離された細菌は、東京薬科大学薬学部細菌学教室に送られ、病原因子の解析が行われます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏洩することのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等（本研究の内容と揃えてください）は、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、当皮膚科において宮田聡子（管理責任者）が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。そのため、同意を取り消すこと及び個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

あなたの皮膚から培養された細菌が、東京薬科大学薬学部微生物学教室に送られ解析されます。研究期間が終了後にその細菌は処理されます。あなたの氏名・住所・生年月日、病状などについては連結不可能匿名化（情報が連結しない形）した上で、研究に必要な時のみ供与されます。

この研究のためにご自分のデータを使用して欲しくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2020年6月末日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京薬科大学薬学部微生物学教室の教室研究費から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

○本研究において、恣意的、意図的に誰かに有利になるような形でデータ取得することはありません。

○あなたへの謝金はございません。

2019年5月14日

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 皮膚科 宮田聡子

住所 〒331-0054

埼玉県さいたま市西区島根299-1

電話 048-626-0011